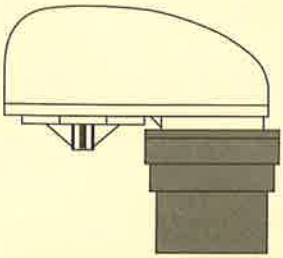
新世代ドルゴはスマート設計!!

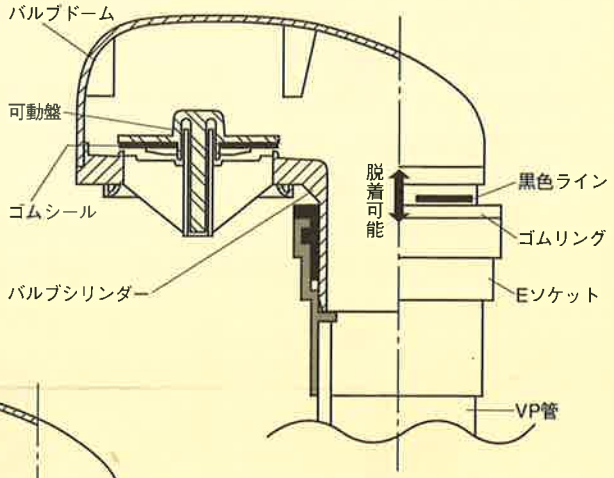
ドルゴプラス取扱説明書

(DP-40E・DP-50L)

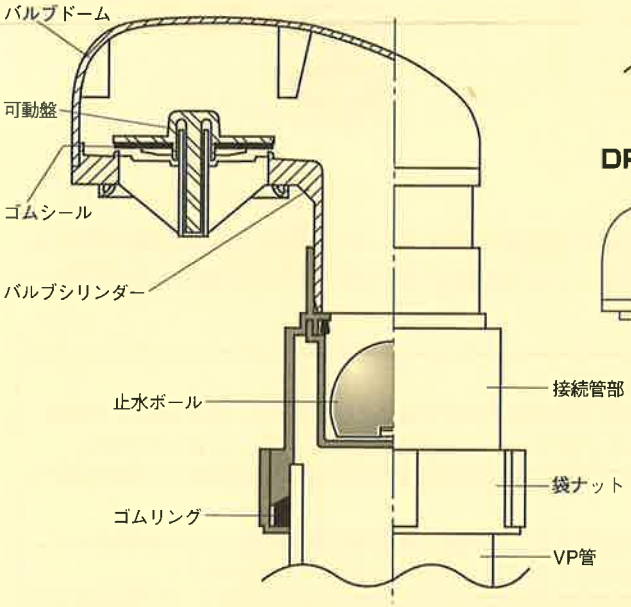
DP-40E



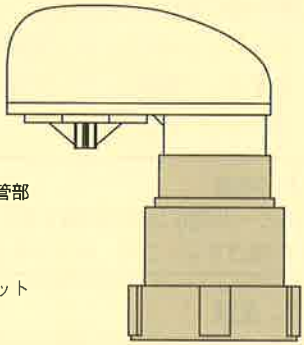
DP-40E 断面図



DP-50L 断面図



DP-50L



施工する前に必ずお読み下さい。

Morinaga Engineering

★ 設置前にチェックを !!

通気弁を取り付ける前に、ポリ袋から商品を取り出し、必ず次のことを確認して下さい。

【DP-40E・DP-50L 共通】

(1)表紙の図のように、全ての部品がセットされていますか。

○DP-40EにはEソケット・ゴムリングがセットされています。

○DP-50Lには接続管部・袋ナット・ゴムリング・止水ボールがセットされています。

(2)下図のように、弁がスムーズに動くことを確認して下さい。

○通気弁を逆さにして、指で弁を軽く押して弁がバルブドーム内に落ちることを確認する。(図-1)

○通気弁を垂直に立てて、弁が弁座に落ちることを確認する。(図-2)

○その時、ゴムシールが弁座に接触していますか。隙間がないことを確認して下さい。

図-1

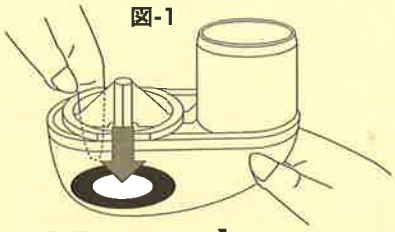
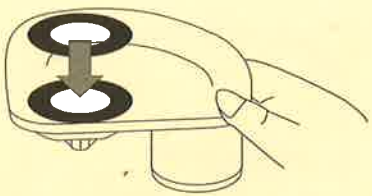


図-2



【DP-40Eについて】

(1) Eソケットのゴムリング内に通気弁のバルブシリンダーが正しく装着されていますか。(黒色ラインがゴムリングの真上で平行になっていることを確認して下さい。)

⚠ 注意
ゴムシール面にゴミが付着すると臭気もれが発生することがあります。取付直前まで梱包から出さずに、ゴミ・ホコリなどがゴムシール面に付かないように注意して下さい。

⚠ 注意
保守・点検や商品の交換時などを除き、不用意に通気弁の取り外し、分解は行わないで下さい。それにより異常が発生した場合は、弊社では責任を負いかねます。

⚠ 注意
正圧区域には、設置しないで下さい。

★垂直に取り付けて !!

横向きや斜めに設置すると、通気弁は正常に作動しませんので、必ずほぼ垂直に取付けて下さい。また、通気弁は壁及び上部から離して設置してください。本体が壁及び上部に当たっていると、バルブドームが変形してしまい臭気漏れの原因となりますのでご注意下さい。

【DP-40Eの取り付け】

DP-40Eは呼び径40の塩ビ管(VP、VU)と呼び径50の塩ビVU管の接続専用です。

(1) 塩ビ管に接続する場合

排水用硬質塩ビ管(VP管)にEソケットを接着剤を用いて、空気漏れのないように取り付けて下さい。(図-3)

(2) 鋳鉄管や鋼管に接続する場合

市販の継手(鋼管用ソケット・バルブソケットなど)を使用して、塩ビ管(VP管)を接続し、その塩ビ管にEソケットを接着剤を用いて空気漏れのないように取り付けて下さい。

MD継手やゴムリング継手を用いる場合も必ず塩ビ管(VP管)を接続した上で、その塩ビ管にEソケットを接着して下さい。(図-4)

図-3
塩ビ管に接続

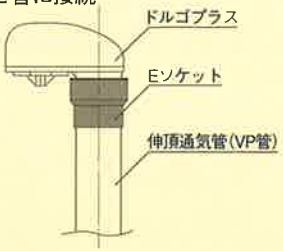
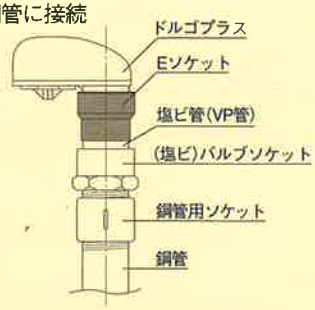
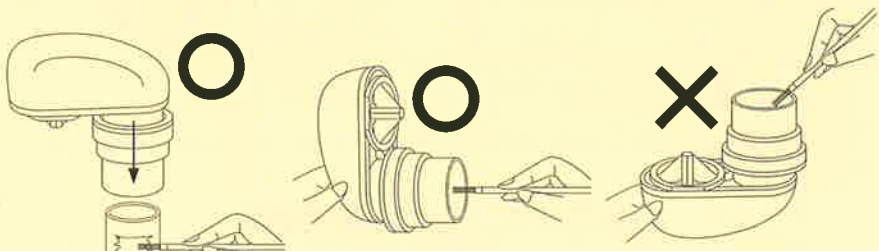


図-4
鋼管に接続



⚠注意　DP-40Eの接着について

接着剤を塗布する際は、なるべく塩ビ管側(VP管)に接着剤を塗って下さい。



通気弁内に接着剤が垂れる可能性があり、正常に作動しないおそれがあります。

【DP-50Lの取り付け】

DP-50Lは呼び径50の塩ビ管接続専用です。

止水ボールが断面図の位置になる様確認して下さい。

（1）塩ビ管に接続する場合

DP-50Lは、塩ビ管（VP管）に袋ナット、ゴムリングの順に差込み、接続管部を袋ナットで締め付けて下さい。その際、ゴムリングの向きに気を付けて下さい。（**図-5**）

（2）鋳鉄管や鋼管に接続する場合

市販の継手（鋼管用ソケット・バルブソケットなど）を使用して、塩ビ管（VP管）を接続し、その塩ビ管に同様に袋ナット、ゴムリングにてDP-50Lを取り付けて下さい。MD継手やゴムリング継手を用いる場合も必ず塩ビ管（VP管）を接続してから作業を行って下さい。（**図-6**）

（3）異径ソケット、チーズを使用する場合

差込みしろを加味して切断した塩ビ管単管とソケット・チーズを先に接着固定してから、DP-50Lを取り付けて下さい。（**図-7**, **図-8**）

図-5

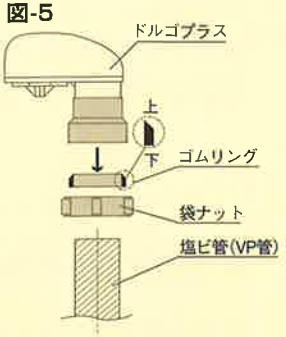


図-6

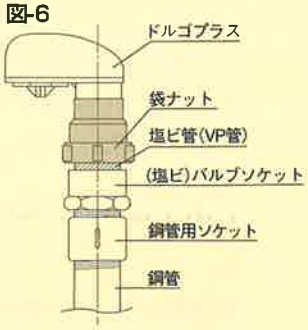


図-7

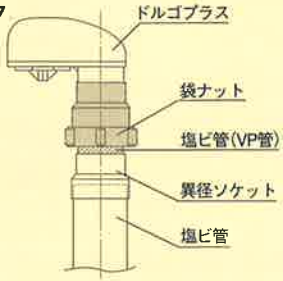
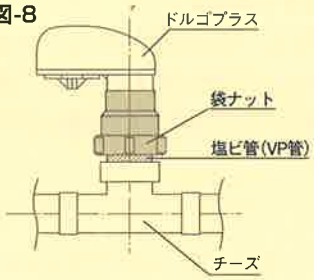


図-8



⚠ 注意

○防火区画貫通部がある場合には、その部分から1ｍ以上離して取り付けて下さい。

○設置後、実際に水を流して、接着部及び袋ナットから水漏れが無いことを確認して下さい。

○排水管の詰まり等が発生し、排水管を清掃する場合は、通気弁を配管から外し、本体を水洗いして下さい。

★点検口はありますか !!

通気弁は点検・保守・交換が出来る場所に設置してください。パイプシャフトや床下に設置する場合は、必ず点検口を近くに設けて下さい。(図-9, 図-10)

★吸気口はありますか !!

通気弁は空気の流れがスムースな場所に設置して下さい。
密閉度が高く、容積の小さなパイプシャフトや床下に設置する場合は、空気の取入口(吸気口)を設けて下さい。
(図-9, 図-10)

●通気ギャラリやベントキャップを使用する場合

吸気口に市販の通気ギャラリやベントキャップを使用する場合、『通気管と同サイズ』の商品を使用して下さい。

図-9 (DP-40E)

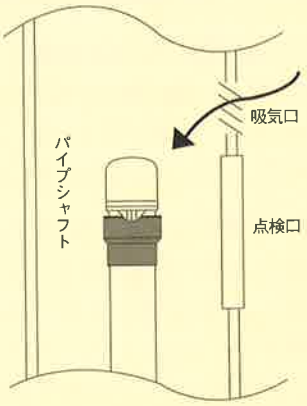
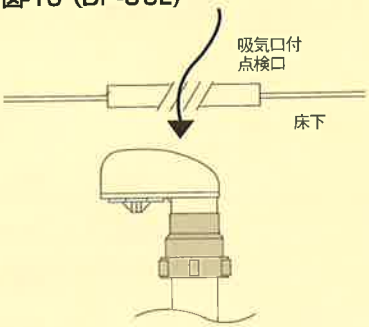


図-10 (DP-50L)



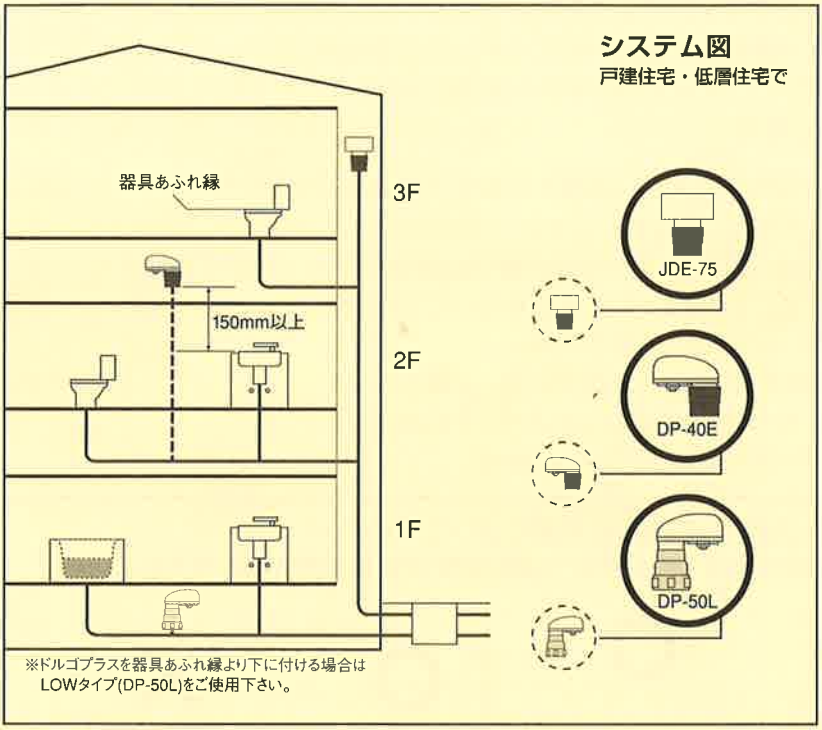
⚠注意
満水試験および高圧洗浄を行う場合は、必ず通気弁本体を外し、止水キャップ等でフタをしてから作業を行って下さい。作業終了後は元通りに復旧して下さい。

★通気弁の取り付け位置

●ドルゴプラスは屋内専用商品です。屋外には設置しないで下さい。

●ドルゴ通気弁またはドルゴプラスを排水立て管の頂部に設置する場合、床面より１ｍ以上で、かつ最上階における最高位の器具のあふれ縁より150mm以上の高所に設置します。

●ドルゴプラス(DP-40E)を排水横枝管に設置する場合、通気管の取出し位置は最上流の器具排水管を排水横枝管に接続した直後の下流側とし、その階における最高位の器具のあふれ縁より150mm以上の高所に設置します。



森永エンジニアリング株式会社
住宅機器販売部

本　　社	東京都港区港南3-8-1	〒108-0075	☎(03)5796-9803
札幌営業所	札幌市中央区南1条東1丁目	〒060-0051	☎(011)251-9811
仙台営業所	仙台市若林区河原町1-6-23	〒984-0816	☎(022)265-2622
大阪営業所	大阪市中央区東高麗橋4-3	〒540-0039	☎(06)6945-5644

ホームページ http://www.morieng.co.jp

1202-5C-AL